LIBRARY NEWS

（図書室だより）

令和６年４月18日 No.1
新座市立第三中学校
校 長　石田 和男
図書整理員　名本 浩子

今年は７年ぶりに桜満開の入学式・始業式を迎えました。新入生のみなさん、在校生のみなさん、入学、進級、おめでとうございます。今年度も、みなさんが読みたいと思う本をそろえた、安らぎのある図書室づくりに努めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

かつて AC ジャパンの CM で紹介された、宮澤章二さんの「行為の意味」を収録した詩集『行為の意味 青春前期のきみたちに』の中に、「視野」という詩があります。その詩の第一連から第三連までを紹介します。

本を読んだあとに心に残った感情。それは、ときに感動だったり悲しみだったり、疑問だったりする。そして、もっと知りたいと思う。もう一度味わいたいと思う。もし、心に残るものがなかったとしても、次に出会うかもしれない、あなたの心を揺さぶる本に。

ベストセラー作家の中にも、出会った一冊の本が、小説家を目指すきっかけになった人がいます。数々の賞を受賞している伊坂幸太郎さんは、父からもらった美術評論の本の帯に書かれていた言葉に心を動かされ、小説家になろうと思ったそうです。

みなさんも、図書室で、あなたの想像力や感受性、探求心を豊かにしたり、あなたに元気や前に進む勇気をくれたりする本に出会ってください。みなさんの来室を楽しみにしています。

一冊の書物の　最後のページを読む
けれど　それは終わりではない

たしかに　満たされたこころがある
満たされて　一冊の書物を閉じる
けれど　それは終わりではない

かならず　なにかがそこから始まる
たとえば　いくつかの疑問
あるいは　さらにひろがる好奇心

宮澤章二「視野」より

お待たせしました！いよいよ開室します！！

互いに利用する人のことを考え、みんなが安心して気持ちよく利用できるようにご協力をお願いします。

図 書 室 の 利 用 に つ い て

利用は、昼休み、放課後とも全学年、利用可能です。

① 一度に借りられる冊数は、通常**３冊**です。夏休みや冬休み、読書週間の特別貸し出し期間では、冊数と貸し出し期間が増えます。

② 貸し出し期間は、**１週間**です。**返却期間を必ず守ってください**。もし、期間内で読み終わらない場合は、一度返却の手続きをして、再度借りるようにしてください。

③ 図書室の開室日は、「図書室開室予定表」で確認してください。返却予定日に図書室が閉まっているときは、図書室入り口前の、『返却ＢＯＸ』に返却本を入れてください。

詳しくは、
「図書室　利用案内」で
確認してください。

［図書室からのお願い］

＊ **マナーを守ってみんなが気持ちよく使える図書館にしましょう。**

室内では、貸し出しや返却の手続きなどの必要な会話以外は控(ひか)えてください。図書室では、本の貸し借りだけでなく、読書したり、勉強したりする人もいます。室内では、静かに過ごしましょう。

・本を読んだり、資料を見たりする場合は、所定の場所に座って、落ち着いて取り組みましょう。

・本の貸し出しや返却の手続きの際、カウンターが混雑しているときは、静かに順番を待ちましょう。

＊ **本を傷めないように、大切に扱いましょう。**

・本のふせ置きやページを折ったり、書き込んだりしないで、しおりやメモ帳などを使いましょう。

・雨水などでぬれないように気をつけましょう。

昨年度末に追加で入った新刊を紹介します。

本屋大賞ノミネート作品

先日、１０日に『本屋大賞２０２４』が発表されました。大賞は宮島未奈さんの『成瀬は天下を取りにいく』でした。ほかのノミネート作品も加わりました。大賞作品と合わせて読んでみてください。

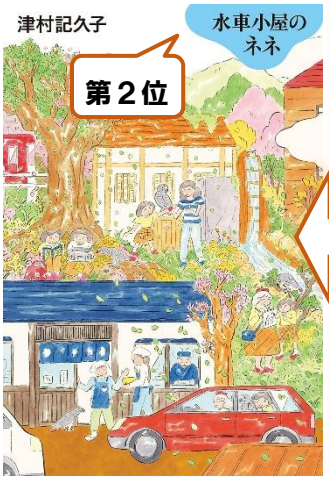
『存在のすべてを』　塩田 武士/著　（朝日新聞出版）

本の雑誌が選ぶ 2023 年度ベスト 10　第１位
新聞、テレビなどのメディアで紹介され、話題に！
「二児同時誘拐事件」発生。一人は早々に見つかり、もう一人は３年後に帰ってきた。その３年間について口を閉ざす被害男児。
あれから 30 年。封印していた物語が動き出す。
ベストセラー『罪の声』に並び立つ新たな代表作。

『スピノザの診療室』　夏川 草介/著　（水鈴社）

若くしてこの世を去った最愛の妹の息子と暮らすために地域病院で働くことになった雄町哲郎。かつては将来を期待された腕前の優れた医師だった。
現役医師として命と向き合い続けた筆者が到達した「人の幸せ」とは。
ベストセラー『神様のカルテ』シリーズの著者が贈る新たな傑作（けっさく）。

『水車小屋のネネ』　津村 記久子/著（毎日新聞出版）



第 59 回「谷崎潤一郎賞」受賞
「本の雑誌」が選ぶ 2023 年上半期ベスト１
「キノベス 2024」第３位
18 歳と 8 歳の姉妹は身勝手な親のもとを飛び出した。たどり着いた町で出会った、しゃべる鳥、ネネ。
ネネを取り巻く人々が互いに支えあい、つらいことや苦しいことを乗り越えて生きていく心温まる長編小説。

そのほかの本屋大賞ノミネート作品も特設コーナーに展示中！

多崎 礼/著『**レーエンデ国物語**』
川上 未映子/著『**黄色い家**』
青山 美智子/著『**リカバリー・カバヒコ**』
凪良 ゆう/著『**星を編む**』
小川 哲/著『**君が手にするはずだった黄金について**』

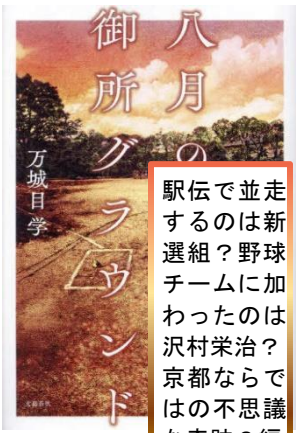
ほかにも、映像化された小説や人気アニメのノベライズなどが新しく加わりました。

第１７０回 芥川賞&直木賞

『東京都同情塔』　九段 理江/著　（新潮社）

『ともぐい』　河崎 秋子/著　（新潮社）

『八月の御所グラウンド』　万城目 学/著（文藝春秋）



４月２３日は「こども読書の日」
〔こどもの読書週間〕
４月２３日～５月１２日

ゴールデンウイーク
ＧＷをはさむこの期間、読書で**ワクワク、ドキドキ**しましょう！